



2021年度 12月号
尚徳福祉会 おぐら保育園

あっという間に、2021年最後の月になりました。生活面は、「じぶんで〜」となんでも挑戦している姿が多くなりました。寒さも厳しくなりますが、外で遊ぶ時間は体をしっかりと動かして、冬の感染症に気をつけ、過ごしていきたいと思います。

☆ともだち☆

室内や園庭で、友だちと手を繋いで歩くことが今、ブームになっています。積極的に手を差し出して、手を繋ぎたいアピールをする子もいました。園庭では、3~4人のグループになって同じ遊びを共有している姿がよく見られます。給食やおやつを食べる時の席も、気の合う友だちと同じ机になりたい気持ちが強くなり、同じようなメンバーで座っていることが多くなりました。4つの机の位置も同じところを選んでいくようです。関わりたい気持ちが強くなったことでのトラブルも出てしまいますが、見守っていききたいと思います。

☆きがえ☆

自分でやりたい気持ちが大きくなってきました。ズボンの後ろ側も自分で引っ張って整える様子が見られるようになってきました。ズボンに足を入れる時に右足が左の方へとクロスすることで前後が逆になっていることもまだまだあります。自分で着替えている子を見て、「やってみよう」と思って自分で脱いで自分で穿いてと真似する子も増えてきました。自分で行うことで、服、ズボン、肌着があちらこちらにいつてしまうことがあります。全てに記名をお願いいたします。



☆おはなし☆

言葉のやりとりが増えてきました。「〇〇ちゃんの」と指差しと共に教えてくれ、「これは先生の」「こっちは〇〇ちゃんの」と使うものを伝える高月齢児や、覚えた単語(名称)を嬉しそうに言う低月齢児の姿が見られます。ままごとや園庭遊びでは「〇〇先生あそぼ〜」と自ら声をかけてくれます。しかし、友だちとの玩具や場所の取り合いは言葉でのやりとりが、まだ難しいようです。保育者が解決への仲立ちをしています。

☆すごい☆

散歩に出掛けて、転んでも泣かずに自分の力で立ち上がる子、手を繋いでいた子も止まって待ってあげていました。保育室に、はしごやマット、踏むと色がにじんで動くパネルを置きました。初めは、はしごをまたいで慎重に進んでいました。数日後には、はしごやパネルの一つ一つに玩具を運んで、それぞれ自分の部屋に見立てて遊んでいました。工夫して遊ぶ姿に子どもたちの‘すごい’を感じます。

*お忙しい中、個人面談にお越しいただきありがとうございます。

ご家庭の様子を伺うことができ、今後の保育に役立てていきたいと思っています。